

衆議院議員

レポート⑦ じん

まつばら仁 ベジタリアン・ヴィーガン対応の 食 で観光立国を目指す



大学生インターン ボランティア
お手伝い頂ける
方を募集してます
若き政治家志望者
募集中！

ネット上でも
最新情報発信中
公式ホームページ: WWW.jin-m.com



松原仁事務所 東京都品川区東大井5-17-4 03-5783-2511 Eメール: info@jin-m.com

衆議院議員
まつばら仁と国会へ行こう!!
★12月は冬休み企画

開催日

12月木
26日 12月金
27日 2月月
10日

お申込み多数の場合、次回以降を予約させていただきます。ご了承下さい。

お誘い合わせの上お気軽にご参加下さい。

国会ならではの見どころをご案内いたします。

・国会議事堂内では、一部エリアを除きカメラ撮影が可能です。

- ・全行程歩で移動しますので、歩きやすい服装や靴でお越しください。
- ・緊急の場合など、私、まつばら仁がご案内できない場合もありますので、あらかじめご承知ください。

集合場所のご案内

千代田区永田町2丁目1番2号 衆議院第2議員会館1Fロビー



当日のスケジュール	
9：50	集合 現地集合 衆議院第2議員会館【1Fロビー】 ※スマートカードを持ったスタッフがご案内します。
10：00～	国会議事堂見学スタート
12：00頃	国会議事堂正門にて記念撮影
13：00	議員会館内にて御食事 ※店舗メニューは異なる場合がございます。

参加費用	(弁当代・写真代・郵送費込み) 国会へ行こう！は毎月開催しております。 1200円
	上記以降の日程は、まつばら仁事務所までお問い合わせください。 ●乳幼児無料●交通費(各自負担) 合わせください。

お電話、FAX、メールにて
ご予約お申し込みください。

まつばら仁事務所 03-5783-2511
東京都品川区東大井
5-17-4高山ビル4階
E-mail: info@jin-m.com

【松原仁と国会へ行こう！！】 FAX申込書 03-5783-2525

○御希望の日に丸をしてください。

参 加 希 望 日	1 12/26 (木)	2 12/27 (金)	3 2/10 (月)	ご参加人数(ご自身含め) 計 <input type="text"/> 名
ふりがな お名前				ご住所 <input type="text"/>
お電話 携 帯				貴団体 団体名 <input type="text"/>
				メ 邮 アドレス <input type="text"/>

国政及び地域の課題等に、ご意見ご要望がある方は記載下さい。

<input type="text"/>	
----------------------	--

ベジタリアン・ヴィーガン対応の食で 観光立国を目指す

多様で魅力ある食環境でインバウンドに対応

来年には、東京オリンピックがやってくる。日本の繁栄という点からは、たくさんのインバウンドの旅行者が訪日することのメリットは大きい。観光立国という言葉があるが、訪日外国人の増加は、海外の国々に対する日本の文化的影響の増大に結び付く。フランスが自国製の映画や、高級ブランド品を通じて、大きな影響力と経済的メリットを享受していることを我々は知っている。フランス料理は国外で高級な料理として高い地位を得ている。いずれもその根本には、フランスの国、そのものに外国人を惹きつける魅力があるという事実がある。

ある。

一つは経済的メリットである。観光立国という言葉があるが、訪日外国人の増加は、海外の国々に対する日本の文化的影響の増大に結び付く。フランスが自国製の映画や、高級ブランド品を通じて、大きな影響力と経済的メリットを享受していることを我々は知っている。フランス料理は国外で高級な料理として高い地位を得ている。いずれもその根本には、フランスの国、そのものに外国人を惹きつける魅力があるという事実がある。

ある。

ベジタリアン・ヴィーガンで医療費削減の可能性

またこのヴィーガン・ベジタリアン対応の食生活によって、冷え性が治ったという女性の話も聞く。他にも、菜食で肉体が改善され、より健康になつたという情報は少なからずある。日本の社会保障関連費用は毎年一兆円近く増えており、その3分の1以上を占める医療費を中心に拡大している状況を考えるとき、健康意識の高まりに伴う、ポール・マツカトニーの『月曜日だけは肉を食べないようとする』ミートフリー・マンデーの運動にも共鳴をする一人である。だからこそ、東京都の小池百合子知事に、『月曜日だけは肉を食べないようにしよう』とするミートフリー・マンデーの運動に理解を求め、都庁食堂においてヴィーガン・ベジタリアン対応のメニューを提供してもらえるようにお願いをしたのである。余談であるが、このことが機縁で、昨年11月にポールの東京公演で小池知事と共にポールに会うことができたことは、私的人生における特筆すべき思い出である。

ヴィーガン・ベジタリアン議員連盟で関連制度推進

自身は肉も食べ、ヴィーガンでもベジタリアンでもないが、様々な視点から、ヴィーガンやベジタリアンの運動は興味深いものといえる。私もその動きには共鳴するところがあるし、ポール・マツカトニーの『月曜日だけは肉を食べないようとする』ミートフリー・マンデーの運動にも共鳴をする一人である。だからこそ、東京都の小池百合子知事に、『月曜日だけは肉を食べないようにしよう』とするミートフリー・マンデーの運動に理解を求め、都庁食堂においてヴィーガン・ベジタリアン対応のメニューを提供してもらえるようにお願いをしたのである。余談であるが、このことが機縁で、昨年11月にポールの東京公演で小池知事と共にポールに会うことができたことは、私的人生における特筆すべき思い出である。

仏教徒の多い日本においては明治時代まではほとんど哺乳類の肉を食べなかつたという伝統があり、世界に誇る「精進料理」、はヴィーガンやベジタリアンはもちろん、ハラールにも対応できるムスリムフレンドリーなものとなつている。

11月6日に設立、活動をスタートした「ヴィーガン・ベジタリアン関連制度推進のための議員連盟」は、多くのマスコミの注目を集めた。それは、この課題に対して、社会的な大きな関心とニーズがあつたからだと承知している。今後も『万国のベジタリアン団結せよ』『万国のヴィーガン団結せよ』という視点から応援していきたい。